

当院で維持透析を受けられている皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

- ・研究課題名：慢性透析患者に対する多施設観察研究（大和透析コホート研究 YDCS）
- ・研究の概要/研究の開示

わが国の透析患者は増加傾向が続いており、2017 年末で 33 万人を超えます。我が国の国民の高齢化に伴い透析患者も高齢化しており、2017 年末の透析患者の平均導入年齢は 69.7 歳となっています。以前は慢性糸球体腎炎を原因とする割合が多かったのですが、近年は、糖尿病性腎症、高血圧性腎硬化症による慢性腎不全を原因とした末期腎不全の割合が増加しています。透析の合併症として、心血管系合併症や透析アミロイドーシスは代表的な合併症ですが、近年は、リン、カルシウム、副甲状腺ホルモン異常による血管石灰化が多く認められることが分かり、慢性腎臓病に伴うミネラル骨代謝異常による心血管合併症があることが分かりました。その他、透析患者には、低栄養、感染症、透析中低血圧、消化管出血、悪性腫瘍の合併も多いことが報告されています。そこで、奈良県立医科大学を中心に、奈良県及び近隣の透析施設で維持透析をされている患者さんを対象にして、代表施設である奈良県立大学の担当者が透析室へ伺い、各種検査や、治療内容、長期予後などを調査します。そこで、何が透析後の合併症に関する危険因子につながるかを調査し、透析導入後の予後の改善や症状の改善に結びつくような方法について検討します。結果については、論文や学会などで発表いたします。

- ・研究対象者

2019 年 12 月～2024 年 12 月に対象施設で維持透析を受けておられる 20 歳以上の患者さんを対象に、登録後 5 年間(最長で 2029 年 12 月までのデータ)の追跡調査を行います。それ以上の期間の追跡を行う場合は、改めて奈良県立医科大学・医の倫理審査委員会で審査し、許可が得られた後、掲載いたします。

- ・研究の意義

基礎疾患の影響、透析条件、抗凝固療法、肝機能、電解質異常などと、合併症、生命予後との関係を明らかにすることで、今後の透析患者の治療に役立てます。本研究は、倫理的、科学のおよび医学的妥当性の観点から奈良県立医科大学・医の倫理審査委員会が審査し、奈良県立医科大学学長による許可を得ています。

- ・個人情報の扱い

研究対象者のプライバシーに関することは、第三者に漏れないように十分配慮されています。この臨床研究での検討結果を学術雑誌や学会で発表させていただくこともありますが、あなたの個人情報が公開されることはありません。今回、カルテを調べる研究なので、対象患者様から同意書ももらっていませんが、この研究について質問があったり、参加されたくない患者様はいつでも透析病院の主治医の先生もしくは下記連絡先にご連絡ください。参加されない場合でもあなたが不利益を受けることは一切ありません。

- ・研究機関の名称及び研究責任者の氏名

奈良県立医科大学腎臓内科学 教授・鶴屋和彦

- ・研究協力施設

奈良県立医科大学腎臓内科学ホームページ(<http://nephrology.naramed-u.ac.jp/>)を御参照ください。

- ・問い合わせ先

奈良県立医科大学腎臓内科学 鮫島謙一、田邊香

連絡先(電話番号)：0744-29-8865(奈良県立医科大学腎臓内科学講座 医局)